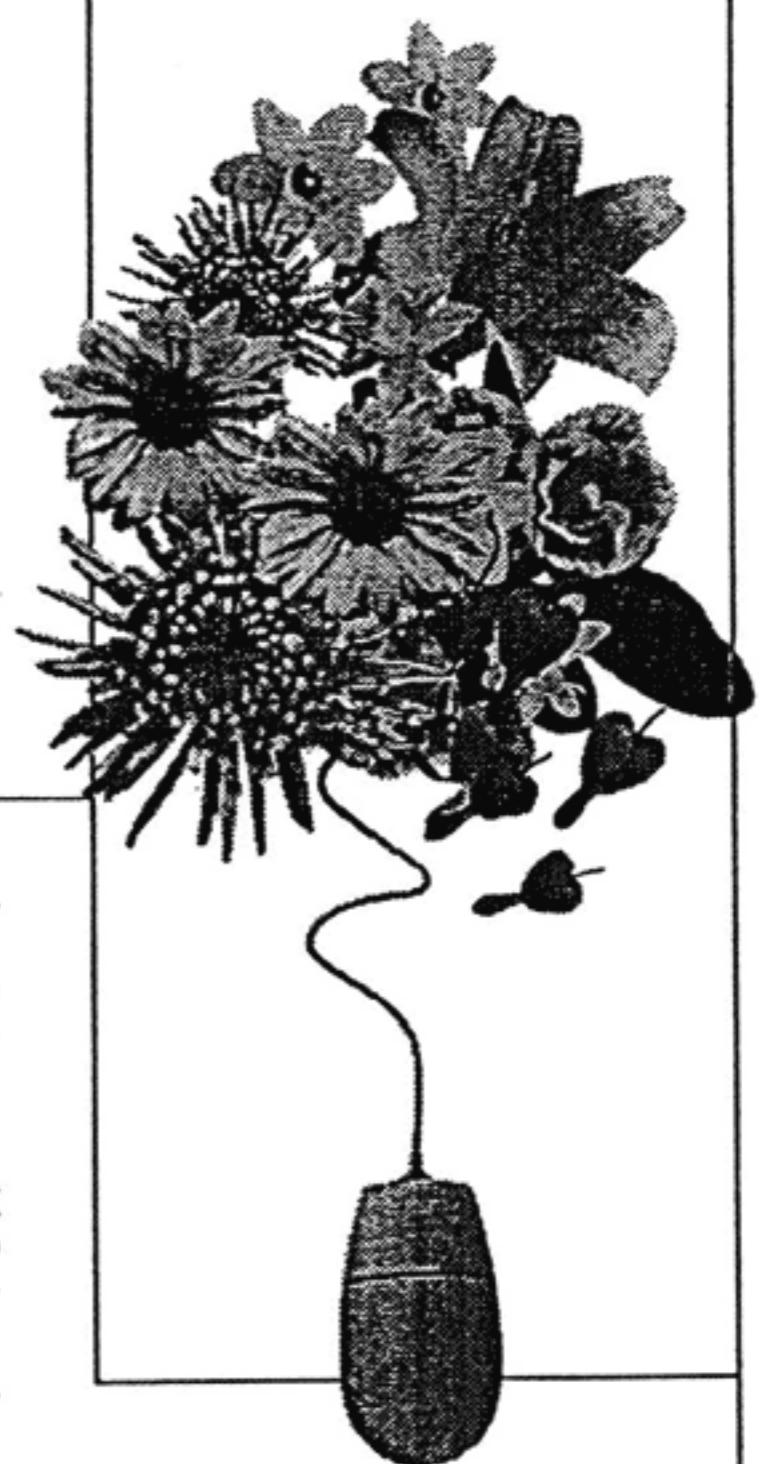


二、情報出版企業として

⑦コンピュータ化(上) ソフトウェア事業

情報社会に突入しつつある現代の企業経営にとって、コンピュータは不可欠の戦略機器である。社内情報の共有化のためであり、世界との情報基盤の共有化のためでもある。私たちが、競争を勝ち抜くためにせよあるいはグローバルな文明社会の恩恵に預かるためにせよ、コンピュータ化は避けて通れない道である。ここで、NTSにおけるコンピュータ化の流れを辿ることにする。

創業時、文京センタービル時代の昭和五十九年半ば、始めて購入したワープロ、キャノワードがNTSの情報機器の第一号である。このワープロは〇〇〇が企画に使ったが、現在の標準からすれば満足に使えるシロモノではなかった。盛和ビル転居後の昭和六十一〜二年頃、当時普及し始めていたファクシミリを購入した。セミナーの受け付けが格段に便利になると同時に、世界とリアルタイムで通信できる環境ができ、国際シンボ路線等の展開のためには欠かせない武器となった。昭和六十三年三月、経理担当の〇〇〇〇が



NECのPC9801Vm(最初の本格的な日本語MS-DOSマシン)を使い始めたが、日常業務の省力化には程遠いものであった。〇〇〇〇〇〇現総務部長が入社した同年九月頃はNTSも事業多角化の中で様々な試行錯誤の時期であったが、中でも当時力を入れていたのがソフトウェアの販売であった。平成元年、鈴博ビル転居後に始めた「見積り雷電」と名付けた電気工事用の見積りソフトの販売事業をきっかけとしてNECパソコンをもう一台購入した。〇〇〇部長の他、事業開始と同時に入社した〇〇〇〇〇が主に営業活動に使用した。同ソフトはパソコン販売と一体であったため、エプソン販売㈱のディーラー権を取得したが、同社の紹介でシステムの開発を依頼したのが㈱ブレインフィールド(現㈱ピーエフシステム)だった。この事業は、結果的に一年程で撤退することになったが、ピーエフシステムとの付き合いはその後も続き、昨年取り組んだ当社の情報基盤整備にも同社の協力は欠かせないものであった。ピーエフの〇〇氏にはまだ十代の当時から十年以

上にわたり当社のシステムサポートを支援してもらっている。NTSにとって情報戦略を熟知した貴重なシステムエンジニアであり、関係者の信頼も厚いものがある。事業展開におけるパソコン利用の流れは以上の通りわずか一年程であったものの、ここで得たパソコン利用のノウハウの蓄積とシステム協力企業との出会いは、以降の当社のOA化にとって欠かせないものであったと思う。

日常業務の省力化(OA化)としてのコンピュータ化は平成二年四月の日本地熱学会事務局業務の受託をきっかけとして本格化した。当初〇〇〇が学会業務と会社経理と兼務していた。学会業務はデータベースソフトにPTablesを使っていたが、この学会員管理業務が、NTSの顧客管理システム構築のヒントになった。更なるOA化推進のきっかけは平成三年七月の「表面科学の基礎と応用」の発刊だった。本書の発刊を境にNTSは一気にOA化を進めることになる。

掲示板

今月の人事

- 一月十二日退社 営業部
- 一月十六日発令
- 総務部主任
- 総務部主任
- 営業部主任
- 編集企画部主任
- 科学技術情報部主任

社内清掃について  
次の日程で、本社事務所内の床掃除を行ないますので宜しくお願い致します。当日休日出勤の予定がある場合は作業に支障がありますので、必ず総務部に連絡して下さい。

二月二十七日(日)

編集後記

▼年の初頭のおみくじが最悪でびっくり。でもNTSニュースも変わったことだし、私も心機一転したい。(サンデー武田)

▼今年ものんびり、まったくマイペースで、道のりは長いけど、まあ何とかなるさっ♡。果報は寝てとうっ。(ボんタ加藤)

▼昨年末の夜、道で大声で泣いている若い女がいた。私は反対側の道に迂回。だって恐かったんです。チラッと見ると携帯で話していたのね。というわけで、私は今年も携帯を買いそろうにありません。(ジャンプ西井)

▼今年コミユニケーション元年。コミユニといえはアイボ、これって「相棒」から名付けられたのか?誰か教えて。(伊勢)

NTSニュース二〇〇〇年一月号(通巻十九号)  
二〇〇〇年一月二十五日発行